

(1) 第2学年 算数科「三角形と四角形」

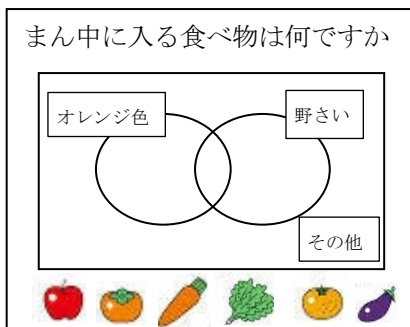
本時の目標

- ベン図を用いた形の弁別を通して、図形の構成要素や正方形、長方形、直角三角形の定義についての理解を深めることができる。

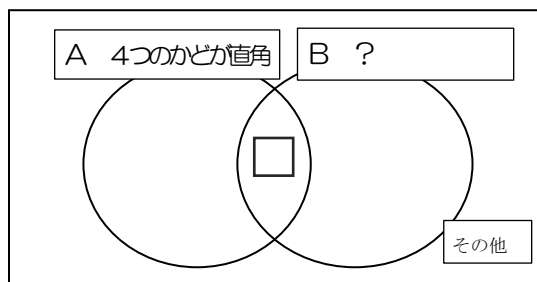
情報活用能力の育成

- プログラミング学習との関連として、「アンプラグド」のプログラミング学習教材、「ルビイのぼうけん」のベン図を使ったアクティビティを行い、「かつ」「ではない」などの論理的な思考に触れさせてデータをまとめる経験をさせたり、分類を可視化できるよさを味わわせたりしておく。

1 ベン図による分類の復習



3 ベン図の中央に正方形だけが入るように、Bの言葉を考える

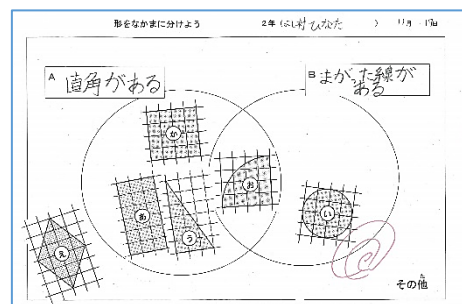


- 図のまん中に正方形だけが入る時の、Bのじょうげんを考えよう



2 ベン図を使った図形の分類

- ○ △ ◇ ▽ □
- 6つの形をじょうげんに合うように分けよう
 - ① A…直角がある
B…まがった線がある
 - ② A…直角がある
B…4本の辺の長さが同じ



4 学習の振り返り

【本時のGOAL】

- ベン図の中央に「正方形」だけが入るときの条件を考えて、条件Bに「4本のへんの長さが同じ」と書くことができる。

振り返り

- 予め、ベン図で情報を整理する経験をさせていたことで、AとBに入る条件をさまざまに変えても、角の大きさや直線に目をつけて分類することができた。また、Bの条件に合う言葉を考えさせる際には、算数ノートを取り出して正方形の定義を読み返している児童が多かったことから、単元末のまとめとして適切な学習だったと考える。

